

今治市教育委員会教育長 様

今治市立大三島中学校長 近藤 勲 印

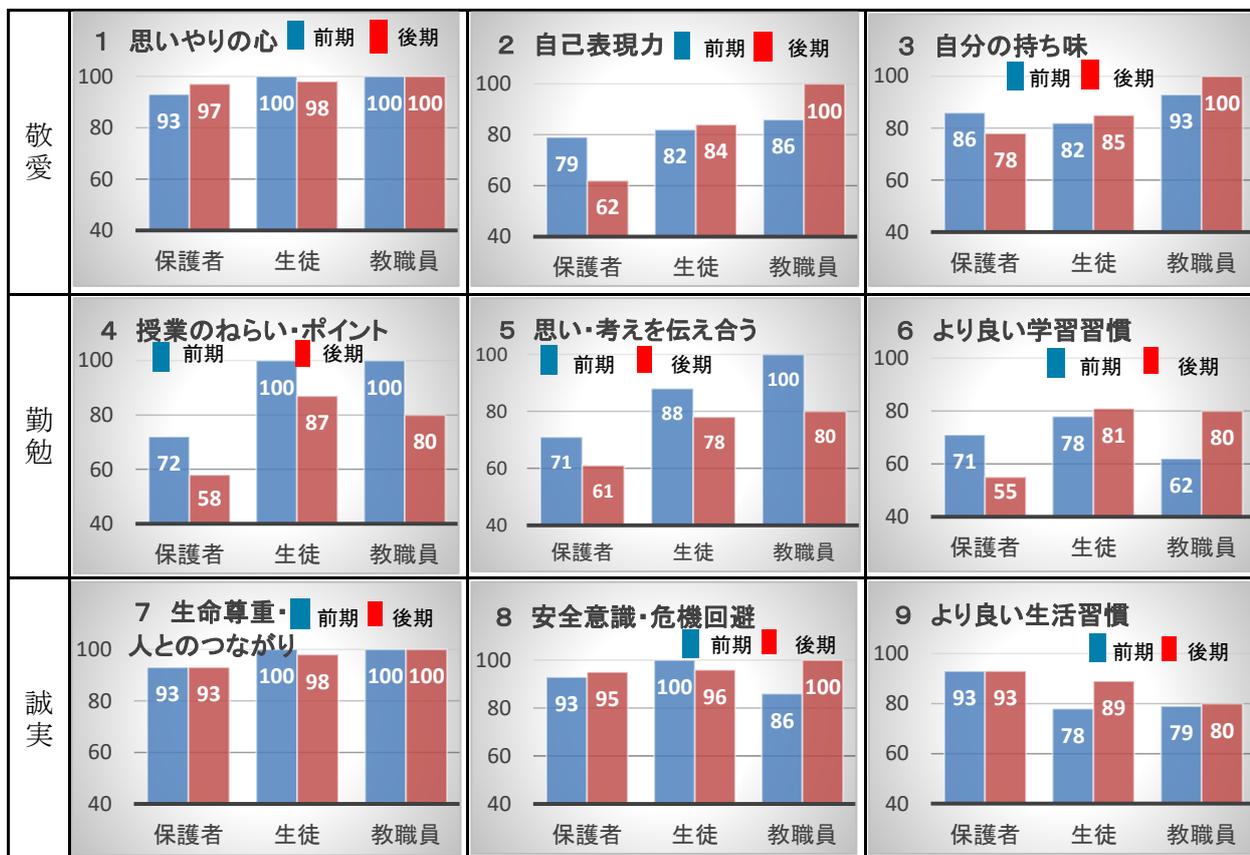
学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価の構成員

地域教育課長2、主任児童委員4、中学校PTA会長1、中学校長1、中学校教頭1、教務主任1

2 学校の教育目標の達成状況 (肯定的回答率の年間推移)



3 主な取組の課題と改善(学校評議員の意見と課題及び改善策)

敬愛	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で積極的にコミュニケーションが図りにくい状況であり、自己表現力や自分の持ち味の評価が低いのは生徒たちを見ていて理解できる。生徒たちは素直ではあるが、先生に言われたことをそのまま守っている。自分で考えて積極的に意見が言えるように育ててほしい。まずさせてみて、必要があれば先生方がそれを指導するようにすると、言ってくるのではないかと。もっと生徒会が仕切る行事があるとおもしろい。できないことが出てくれば、できる範囲でさせてもらいたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会のスローガンである「挨拶と意思表示、日本一の大三島」を達成するために、生徒自らが具体的に活動できるような働き掛けをすることが必要である。生徒会活動の活性化を図る中で、生徒が中心になって行うイベントの機会を作っていきたい。 これまで様々な制限がある中で運動会や文化祭などを行ってきたが、今後は少しずつできることが増えてくると考えられる。生徒の意見も取り入れながら計画・運営し、充実感を味わえるものにしていく必要がある。

<p>勤 勉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣について保護者の満足度が低いのは、家庭の問題である。ゲームなどの規制をして勉強する時間とのけじめを付けさせるのが大変である。 ・ テストの平均点が低いのは、できる生徒とできない生徒の差が大きいのではないか。できないことであきらめてしまう生徒を何とか引き上げられないだろうか。 ・ 部活動に入部していない生徒を対象に、学習部などを作って1時間、2時間でも勉強できる場があれば、家庭で勉強するよりもできると思う。 ・ 進学について、生徒はどこに目標を置いているか。地元に分校があるため、より高い目標を持つとする意識が低くなってはないか。1・2年生のうちから目標を持つように、オープンスクールなどに参加できると良い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年生を対象に、自主学習ノートを作成してテストで活用するという取組を進めている。自ら考えて学習に取り組むことでより良い学習の仕方や習慣を身に付け、学力の向上を図ることができるように継続して指導していきたい。 ・ 基礎的・基本的な内容を身に付けさせるために、ねらいを明確にした分かる授業の展開を工夫し、毎日のドリル学習を実施する。また、生徒一人一人の興味・関心や学力に応じた学習を進められるように、より効果的なICTの活用方法も工夫したい。 ・ 進路学習については、学級活動や総合的な学習の時間で3年間を通して計画的に行っているが、生徒が自分自身のこととして捉え、考えを深めることができるような手立てが必要である。家庭でも進路について話す機会を作ることができるように、関連する情報を生徒だけではなく積極的に保護者にも伝える必要がある。
<p>誠 実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ より良い生活習慣について全体的に評価が高いのは、コロナ禍の影響により家で過ごすことが多くなっているからではないか。来年度からは行動範囲が広がる可能性があるため、その時に崩れないように対応を考えておく必要がある。 ・ ほとんどの自転車通学生がルールを守って登下校できている。バス通学生も含めて今後も安全に登下校できるように繰り返し指導してもらいたい。通学路に危険箇所があれば、支所に連絡してもらいたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身ともに成長著しい中学生にとって、良い生活習慣を身に付けることが重要であることを機会あるごとに指導したい。家庭との協力も必要であると考え、連携を図りながら望ましい生活習慣を構築させたい。 ・ 交通安全教室やPTAの登校指導などを通して、安全な登下校について、機会あるごとに繰り返し指導していきたい。